

発行所
社会福祉協議会八木山連
合支部
まちの福祉だより「さ
さえあい」編集部(事務局)
江川輝彦 ☎ 384-9602
清水孝子 ☎ 384-3150

まちの福祉だより「ささえあい」

社会福祉協議会八木山連合支部

社会福祉協議会八木山連
合支部
支部長(松が丘連合自治
会長) 松井義孝
松5 ☎ 370-0717
副支部長(つつじが丘統
一自治会長) 福田稔
つつじ4 ☎ 385-0249

「ささえあい」発行

昨年度の地域福祉懇談会で、「もっと地域の福祉情報を流すとよい。特に障がい児・者について理解を促すものが必要だ」との意見が出ました。そこで社協八木山の情報紙として「まち

の福祉だより『ささえあい』」を発行していきます。

ここでは、名のとおり「ささえあい」ことをテーマにいたします。支え合っているボランティアグループ・個人の紹介をいたします。地域の福祉の輪を大きく広げていきますように。

知恵を出し 出来ることから

社協の目的に「地域ぐるみで住みよいまちづくりを努力すること」なっています。小さなことから皆で知恵を出し合って出来ることからやっていきます。

以前、ある方と議論しました。「私は近所の干渉は受けたくない。だから何もやらない、出来ない」と言われました。そこで「体の弱った方が住んでおられる家に、花の鉢を外から見えるところに置いて

もらう。それに水やりをしていただく。水やりがなされないようになった時には、そのお方のドアをノックさせていただく。これではどうでしょう」と。「それなら受け入れる」との事になりました。

小さな行為の「ささえあい」。それをつなげていけば住みよい街づくりに近付くのではないでしょうか。

支部長(松が丘連合自治会長) 松井義孝



竹村和子写真集「かわいいね」より

どんぐりクラブ

八木山小障がい児支援の会

現在の主な活動は八木山小学校の特別支援学級「ひまわり」の学習支援を会員、民生委員八名を含む二十五名で行っています。調理の時、包丁やガスの安全を指導し、依頼された補助を行っています。

やってやる!じゃなく
求めているものを

「それはね、こう持つてこうするのよ!」などの援助ではなく、あくまでも児童たちの求めの行動の補助に徹しています。どんぐりよろしく集会やクリスマス会にはお客さまとして参加し、一緒

ボランティアハウス いこいのつつじ ここで皆に会えるのが楽しみ

毎週金曜日 待ち遠しい日

毎週、二十から三十名の方楽しんで頂い



おいしそう! 今日の料理は「タケノコごはん・煮物・ポテトのサラダ・ホタテの炒め物・デザート」 これで300円です!

ています。毎回、給食スタッフは腕をふるって昼食を作り、フロア担当はお楽しみを準備します。身体を動かし、

最近元気そうな初老のご夫婦連れの散歩姿をよく見かけるようになりました。私たちがこの街に来た三十年前とは全く風景が変わって来ています。

何年か後には高齢者がつつじの街に溢れることが想像されます。

地域のサポ ーターにボ

終いの住み家としてどのようなシステムがあれば安心して暮らしていけるのか、世話にはならん!と思っても突然の時はやっぱり近所さんです。

このいこいのつつじも徐々に形を変え、よりしつかりした地域のサポートセンターのようないな場所になっていくと思います。

代表者・連絡先

曾布川美治つつじ二
電話370-5289

か元 はな人もい

毎週金曜日、10時～14時まで。
午前の部：ギターであう。フットセラピー、カラオケ、健康体操など。
午後の部：手作り昼食をたのしみ 300円
午後の部：地元内外より演技者に来てもらっています。

大笑いしておいしい食事をすれば長生き間違いありません。

投 稿

「若い時の ボランティア」が今

今、鶴沼中学校では年末にお年寄りの家にボランティアに行くけれど、あれはとってもいいことだと思います。彼らはきつと一生ボランティアに関わると思います。▼私のボランティアは中学生の時からです。日本赤十字社のジュニア版で活動しました。若い時の体験はしっかりと身につき、今の私を育てたと思います▼ある時、近隣ケアの活動として、ある家を訪問するとその男性に聞かれました。「娘や息子もしないようなことを、どうしてあんたはやっているの?」「私、お年寄りのお世話をすることは少しも苦にならないの、むしろ楽しんでいますの。自分も年を取っていくので、元気なうちにお手伝いをするこ

つつじが丘八丁目
有馬静子

